意見広告

沖縄の人々に、これ以上の命の危険と苦痛を押しつけるのですか

これは私たちの問題です。

オスプレイ配備NO!

イメージ写真

私たちは死の恐怖を運ぶオスプレイの沖縄配備に反対です

開発段階から安全性・実用化に疑念が絶えず、過去何度も死亡事故を繰り返してきたMV-22オスプレイが民家や学校が隣接する「世界一危険な普天間基地」に配備されようとしています。「県民の命を危険にさらし、墜落の死の恐怖を押しつける」に那覇市議会決議より）暴挙と言う他ない行為です。

「安全」という米国政府の通知を知らせるだけの政府なら、この国のどこに民主主義があるのでしょうか。

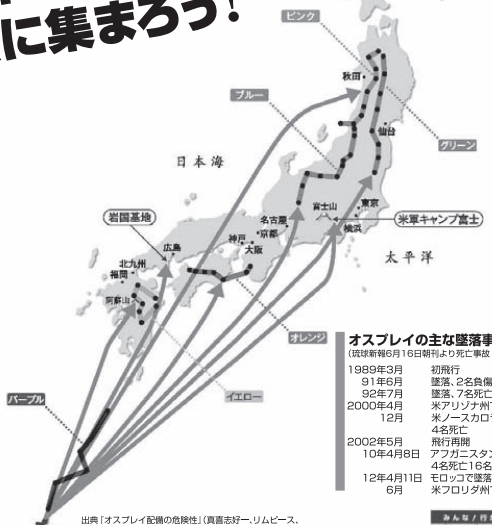
オスプレイ配備の問題は沖縄だけの問題ではありません。全国各地でオスプレイ低空飛行訓練が計画されており、列島に暮らす人間の命と暮らしに関わる問題です。

平和に生きる、安心して暮らす。これは私たち全てに平等な権利です。日米安保条約の下で、基地を、基地ゆえの危険と苦痛を、その犠牲を沖縄に押しつけている「本土」の側が、東京で政治を変えるのは当然の責任です。

未来を創るのは、私たちみんなの力です。いまこそ、声を挙げるときではないでしょうか。

1991年6月、米国デラウェア州ウイルミントン、ボーイング社飛行場での事故

9・9沖縄県民大会と同時アクション
みんな 国会に集まろう!



出典「オスプレイ配備の危険性」(真喜志好一、リムピース、非核市民宣言運動・ヨコスカ著／七つ森書館)

オスプレイの主な墜落事故

(琉球新報6月16日朝刊より死亡事故・負傷事故抜粋)

1989年3月	初飛行
91年6月	墜落、2名負傷
92年7月	墜落、7名死亡
2000年4月	米アリゾナ州で墜落、19名死亡
12月	米ノースカロライナ州で墜落、4名死亡
2002年5月	飛行再開
10年4月8日	アフガニスタン南部で墜落、4名死亡16名負傷。
12年4月11日	モロッコで墜落、2名死亡2名重症。
6月	米フロリダ州で墜落、5名負傷。

写真上●6月24日「国会に届け!」国会正門前で「戻ってこい!」
写真下●沖縄・宜野湾市民大会 2012年6月17日

危険なものは危険と言おう！一人でも多くの方が参加されることを期待します。

「9・9沖縄県民大会と同時アクション」

- 「オスプレイ配備に反対する沖縄県民大会」が9月9日(日)午前11時より開催されます。同日・同時刻に国会に集まろう！
  詳しくは、ホームページをご覧下さい。
  http://noosprey.xxxxxxxx.jp/
- 主催　9・9沖縄県民大会と同時アクション
- 問合せ先
  沖縄・一坪反戦地主会関東ブロック
  TEL：090-3910-4140
  ピースボート
  TEL：03-3363-7561

【私も呼びかけます】

雨宮処凛（作家・活動家）
伊藤　真（弁護士・伊藤塾塾長）
上原成信（沖縄・一坪反戦地主会関東ブロック）
上原公子（元国立市長）
内田雅敏（弁護士）
尾形　憲（法政大学名誉教授・沖縄意見広告運動発起人）
加藤登紀子（歌手）
鎌田　慧（ルポライター）
古今亭菊千代（落語家）
椎名千恵子（原発いらない福島の女たち）
ジャン・ユンカーマン（映画監督）
辛淑玉（人材育成コンサルタント）
高橋哲哉（哲学者）
俵　義文（「子どもと教科書全国ネット21」事務局長）
新倉裕史（非核市民宣言運動・ヨコスカ）
野平晋作（ピースボート共同代表）
花輪伸一（JUCON―沖縄のための日米市民ネットワーク世話人）
藤本泰成（「フォーラム平和・人権・環境」事務局長）
渕上太郎（経産省前テントひろば）
マエキタミヤコ（サステナ代表）
前田哲男（ジャーナリスト）
森　達也（作家・映画監督）
森口　豁（ジャーナリスト）
若森資朗（バルシステム生協連合会前理事長）
渡辺美奈（「女たちの戦争と平和資料館」(wam) 事務局長）

意見広告プロジェクト責任団体：ピースボート、JUCON（沖縄のための日米市民ネットワーク）、沖縄意見広告運動

この意見広告は9.9沖縄県民大会に呼応する同時アクションの諸団体・個人をはじめたくさんの人々の賛同によりつくられました。この意見広告についての感想やご意見をお寄せ下さい。これからも声を挙げて行動する努力を続けます。

連絡先
東京都中野区中野2−23−1　ニューグリーンビル309　協働センター・アソシエ内
沖縄意見広告運動
Tel.03-6382-6537 Fax03-6382-6538
http://okinawaiken.org　Eメール：info@okinawaiken.org

〈賛同金の郵便振替口座〉
口座番号：00920-3-281870
加入者名：「意見広告」(「オスプレイ配備反対広告」と明記下さい)

デザイン／佐藤俊男